



2025年11月14日

2026年3月期第2四半期 決算説明資料

株式会社くすりの窓口

証券コード：5592

5.中期経営計画

2026年3月期第2四半期累計 連結決算概要

2026年3月期第2四半期累計 連結決算概要

2026年3月期
第2四半期累計

当期の連結売上高は、各事業のストック売上が着実に積み上がった結果、増収増益となりました。

連結売上高
58.2億円
前期比 +7%

連結営業利益
12.6億円
前期比 +33%

ストック粗利
16.5億円
前期比 +23%

メディア事業

施設保有数の増加に加え、処方箋ネット受付数も着実に増加したことでストック売上が伸長し、増収増益となりました。

売上高
22.9億円
前期比 +8%

ストック粗利
7.4億円
前期比 +48%

みんなのお薬箱
事業

不動産在庫サービスは引き続き好調に推移したことと、仕入れサポートサービスが回復基調のため、増収増益となりました。

売上高
17.0億円
前期比 +14%

ストック粗利
7.5億円
前期比 +18%

基幹システム
事業

前年同期の補助金交付対象のサービス需要が一巡した反動によるショット売上の減少をストック売上の増加が完全にはカバーできず、減収減益となりました。

売上高
17.0億円
前期比 △1%

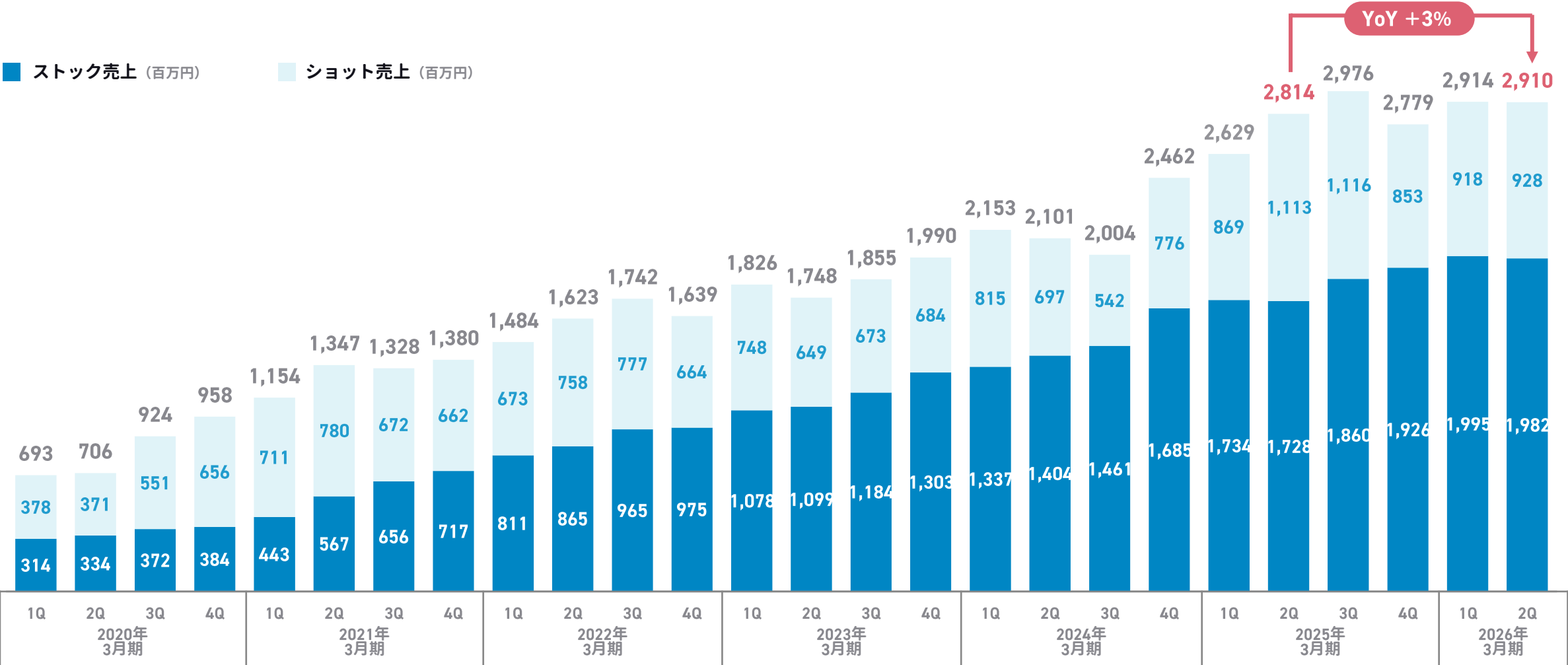
ストック粗利
2.5億円
前期比 △15%

※当社は単一セグメントのため各事業の売上とストック粗利を重要指数としております。

2026年3月期第2四半期 業績報告

連結売上高

2025年3月期は診療・調剤報酬改定の年度であり、報酬の加算対象や補助金対象のサービス特需が一巡したことでショット売上は減少しました。一方、ストック売上は3事業ともに確実に積み上げた結果、大幅増となりました。

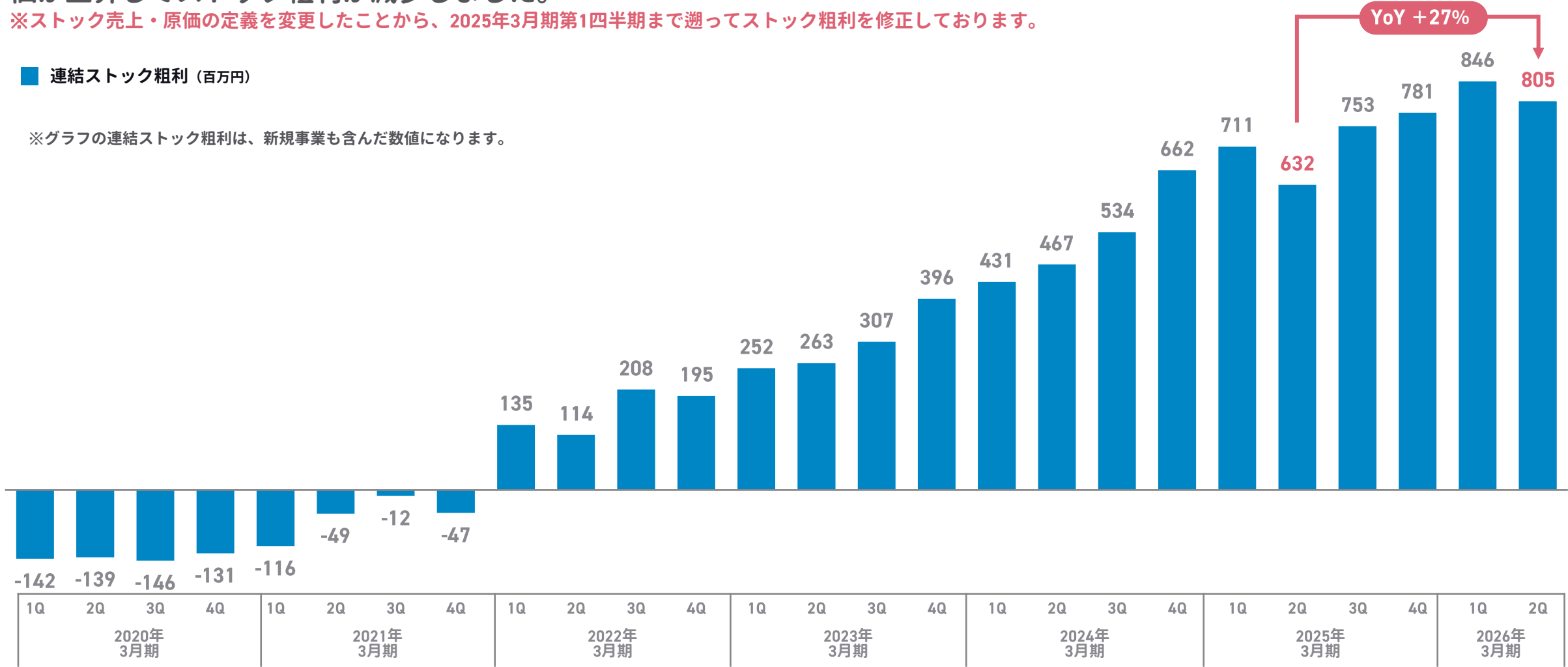


連結ストック粗利

2026年3月期第2四半期は、前年同期比較ではストック売上が好調だったため、大幅増益となりました。一方、前四半期比較では、主にグループ子会社のストック売上・原価の定義変更および将来に向けての先行投資などを行ったことでストック原価が上昇してストック粗利が減少しました。

※ストック売上・原価の定義を変更したことから、2025年3月期第1四半期まで遡ってストック粗利を修正しております。

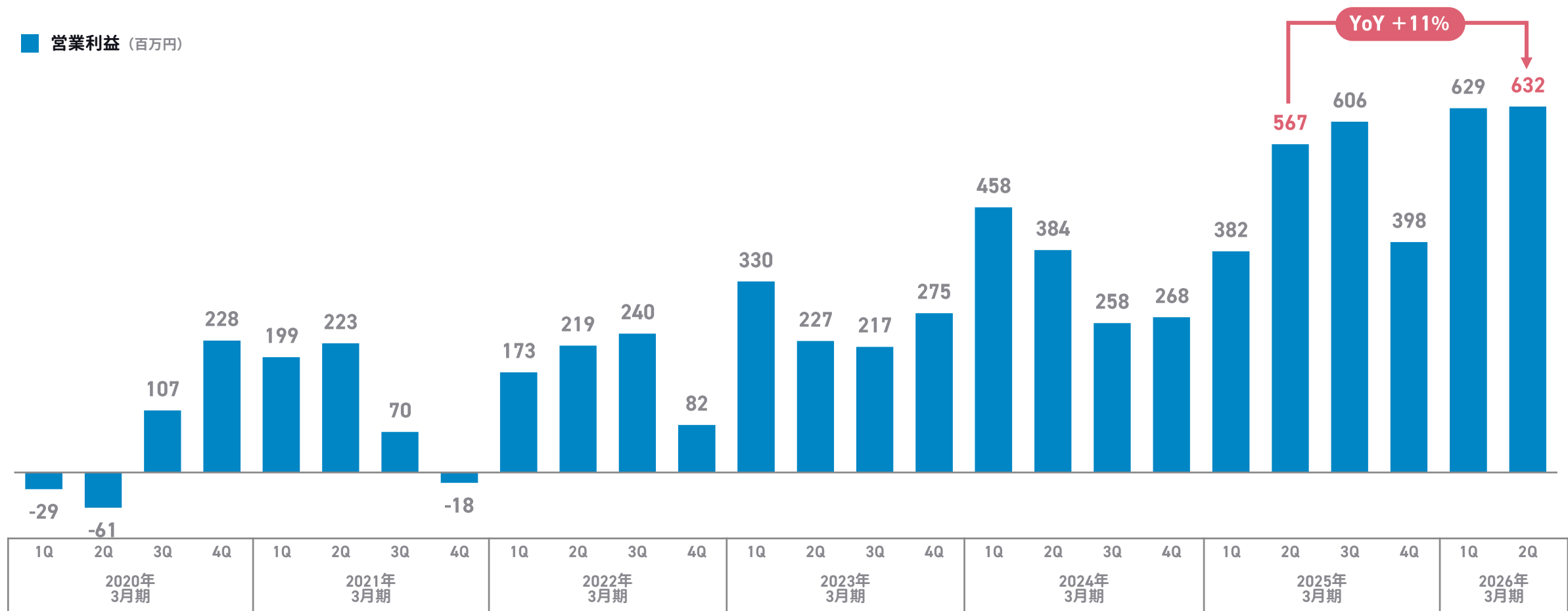
■ 連結ストック粗利（百万円）



※グラフの連結ストック粗利は、新規事業も含んだ数値になります。

連結営業利益

2026年3月期第2四半期連結四半期営業利益は、第1四半期から引き続き、子会社の合理化をはじめとするくすりの窓口を含めたグループ全体のコスト適正化に努めたことで、過去最高を更新しました。

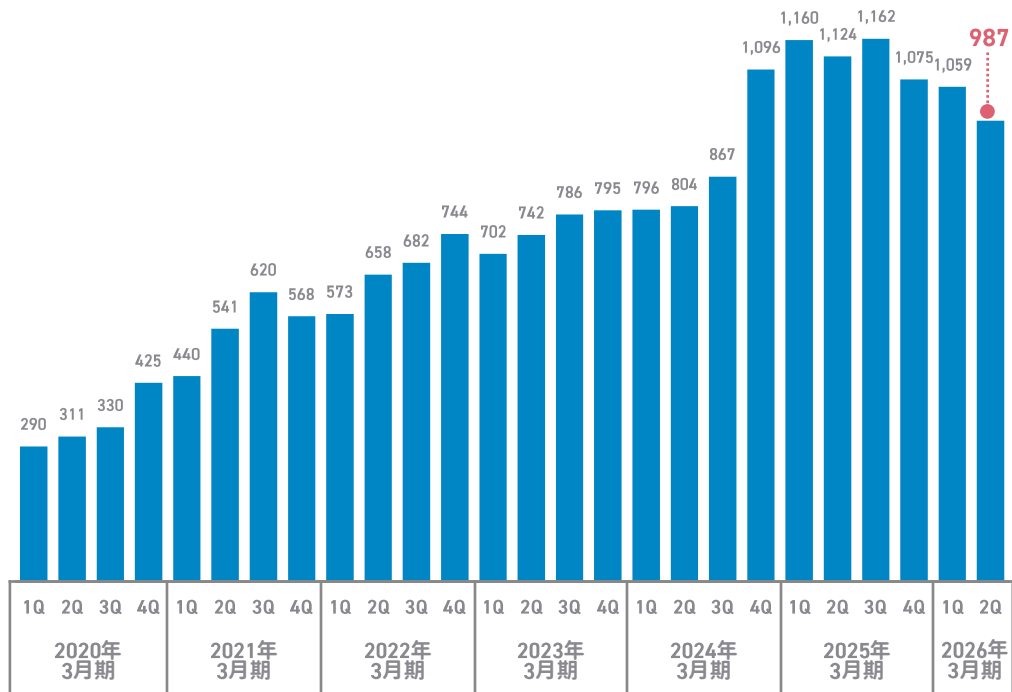


2. 2026年3月期第2四半期 業績報告

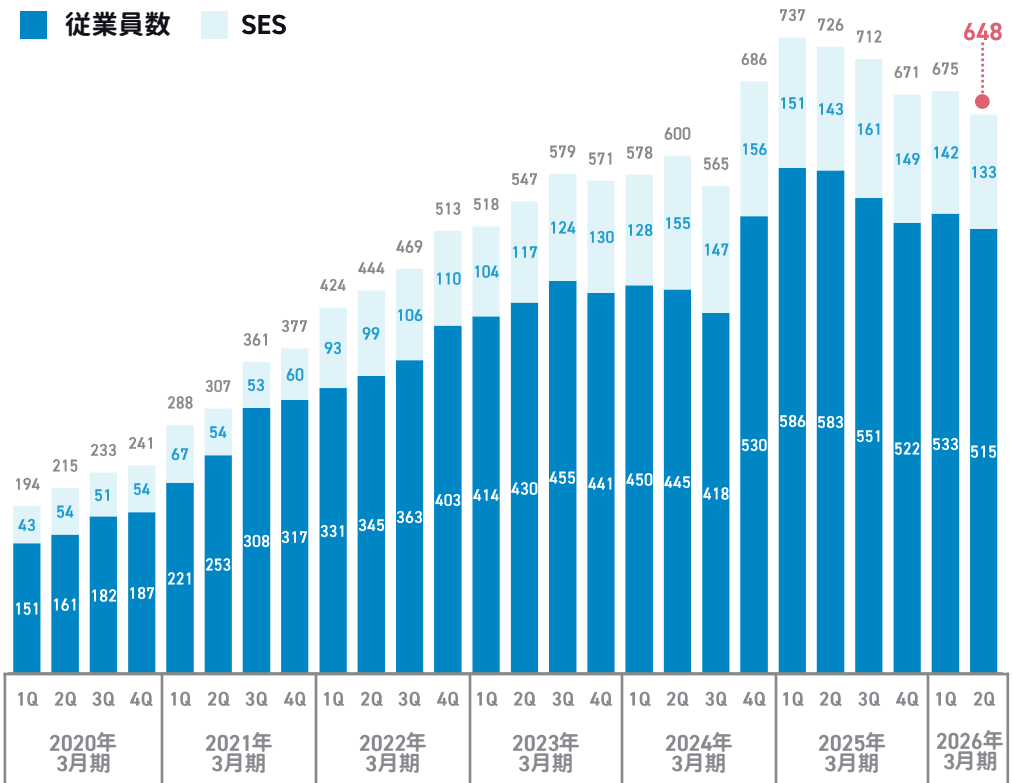
連結販管費と従業員数

子会社のコストの適正化が進み、販管費、従業員数ともに前年同期および前四半期比較で減少いたしました。

販管費 単位：百万円



従業員数 単位：人



連結損益計算書

親会社株主に帰属する四半期純利益は、9月の減資に伴い、繰越欠損金に係る繰延税金資産を追加計上し、2026年3月期第2四半期の法人税等調整額が△645百万円となった結果、1,233百万円となりました。

単位：百万円	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減率	2026年3月期 第1四半期	増減率
売上高	2,910	2,813	+3%	2,914	△0%
売上総利益	1,619	1,691	△ 4%	1,688	△4%
営業利益	632	567	+11%	629	+0%
経常利益	606	542	+12%	645	△6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,233	318	+288%	386	+219%
EBITDA	959	857	+12%	975	△2%

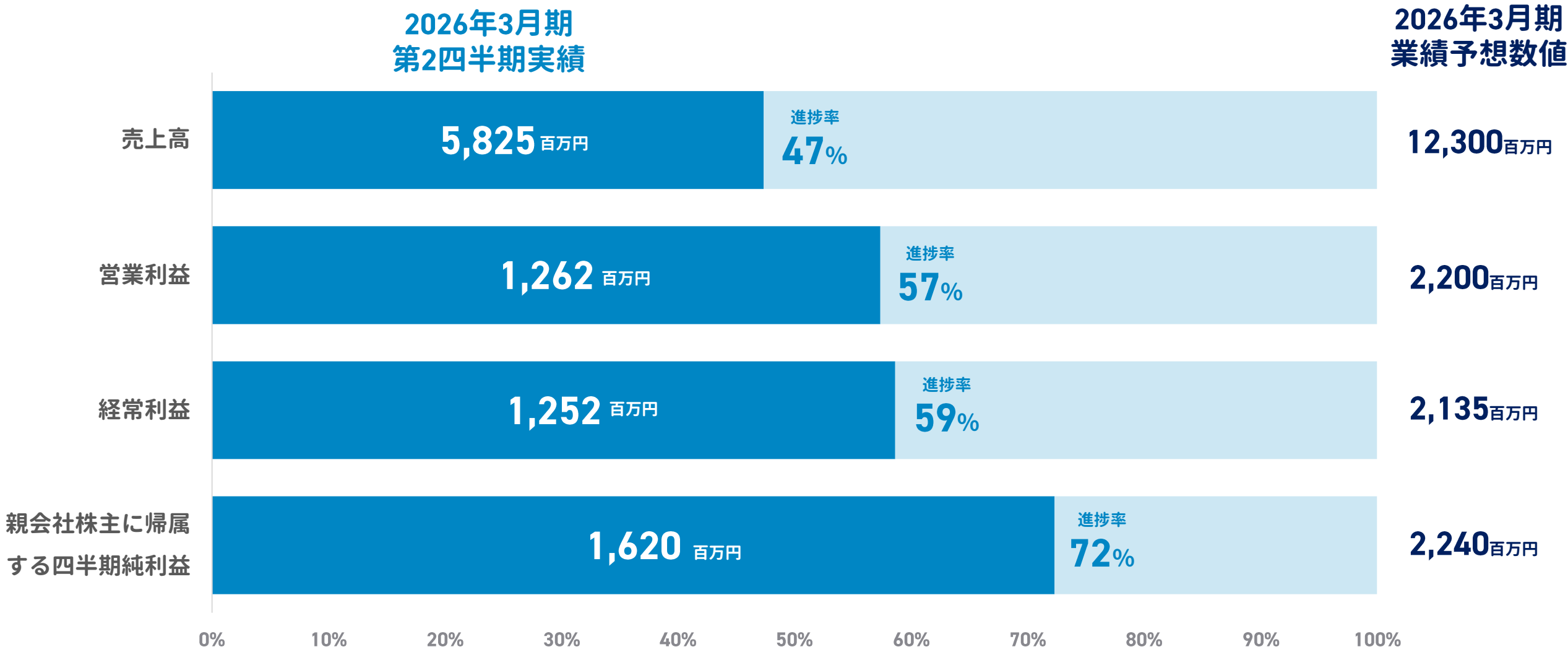
2026年3月期第2四半期連結の繰越欠損金の処理について

6月24日の第21期定時株主総会においては、第2号議案「資本金の額の減少の件」のご承認いただきました件は、効力発生日の9月に1,536百万円減資をし、資本金は、40百万円になりました。

これに伴い、繰越欠損金に係る繰延税金資産を追加計上し、2026年3月期第2四半期の法人税等調整額は、△645百万円となりました。

その結果、親会社株主に帰属する2026年3月期第2四半期累計の親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,620百万円となりました。

2026年3月期第2四半期の業績進捗率



連結貸借対照表

固定資産は、役員および従業員に対する株式取得資金を貸付けたことによるものと減資に伴い繰延税金資産を追加計上したことにより増加しました。また、固定負債は、長期借入金により増加しました。

単位：百万円	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減率	2026年3月期 第1四半期	増減率
総資産	13,336	18,879	△29%	11,874	+12%
流動資産	6,111	13,845	△56%	5,879	+4%
現預金	1,954	9,807	△80%	1,888	+3%
固定資産	7,225	5,034	+44%	5,995	+21%
負債	3,927	11,906	△67%	3,249	+21%
流動負債	2,637	11,217	△76%	2,772	△5%
固定負債	1,290	689	+87%	477	+170%
純資産	9,409	6,972	+35%	8,625	+9%

トピックス

当社株主であるN B S E ヘルステック投資事業有限責任組合の投資期限到来に伴って、当社普通株式3,140,400株を出資者に分配した結果、2025 年3月末時点において上場維持基準（25.0%）に適合していなかった流通株式比率（24.3%）が34.2%以上となり、改善期間が解除されました。

【2025年3月末現在】	大株主名	所有株数	持株比率
	N B S E ヘルステック投資事業有限責任組合	3,140,400	28.0%
	株式会社E P A R K	3,135,000	27.9%
	S B I イノベーションファンド1号	1,802,700	16.1%
	野村信託銀行株式会社（投信口）	396,800	3.5%
	木下 圭一郎	212,500	1.9%
	堤 幸治	181,800	1.6%
	光通信株式会社	156,800	1.4%
	上田八木短資株式会社	135,800	1.2%
	JP JPMSE LUX RE UBS AG LONDON BRANCH EQ CO	91,100	0.8%
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	79,200	0.7%
上位10位の大株主の合計		9,332,100	83.1%

【2025年9月末現在】	大株主名	所有株数	持株比率
	株式会社E P A R K	4,218,916	38.0%
	S B I イノベーションファンド1号	1,802,700	16.2%
	オリックス株式会社	974,554	8.8%
	株式会社N B S E	683,524	6.1%
	木下 圭一郎	238,500	2.1%
	堤 幸治	235,500	2.1%
	株式会社S B I 証券	176,821	1.6%
	フリービット株式会社	144,522	1.3%
	光通信株式会社	112,200	1.0%
	セントラル短資株式会社	95,000	0.9%
上位10位の大株主の合計		8,682,237	78.1%

■ 事業内容と業績

メディア事業

3. 事業内容と業績

メディア事業 | ビジネスモデル



国内最大級の
ポータルサイト

EPARK
くすりの窓口



650万DL突破

iOS 4.54
Android 4.36

累計DL数
最大級のお薬手帳

EPARK
お薬手帳



EPARK
くすりの窓口
リッチプラン

EPARKくすりの窓口の
上位表示プラン

患者のリピート促進に
特化した顧客管理システム

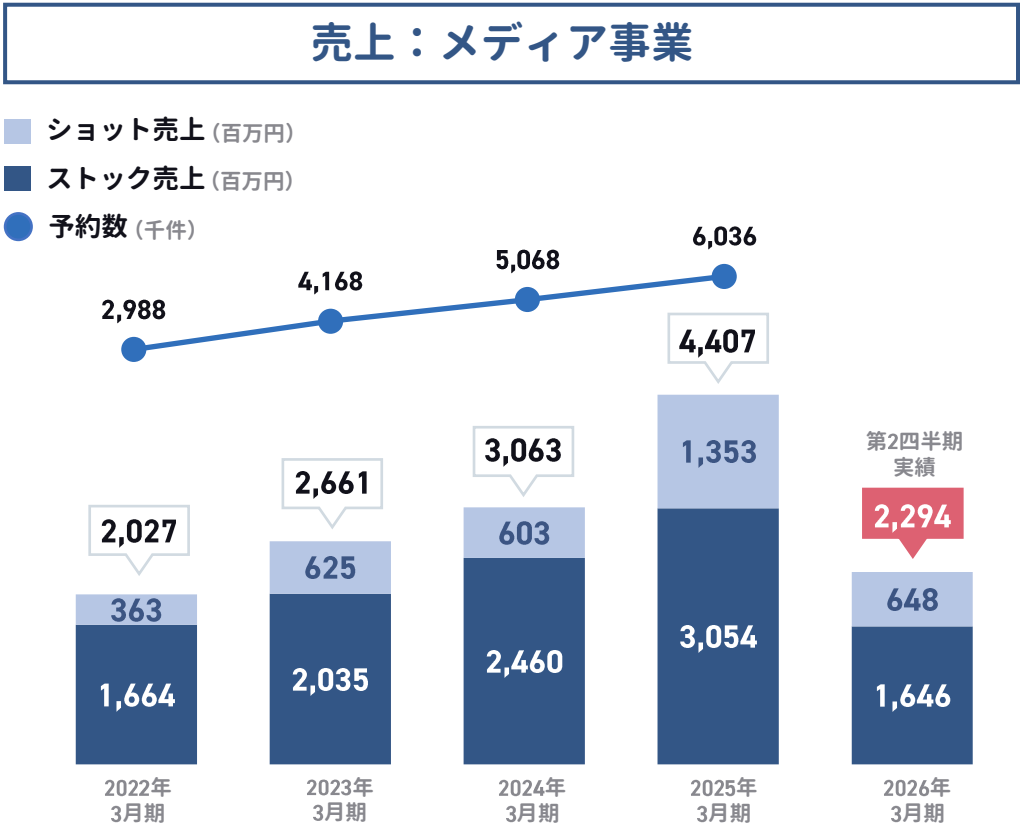
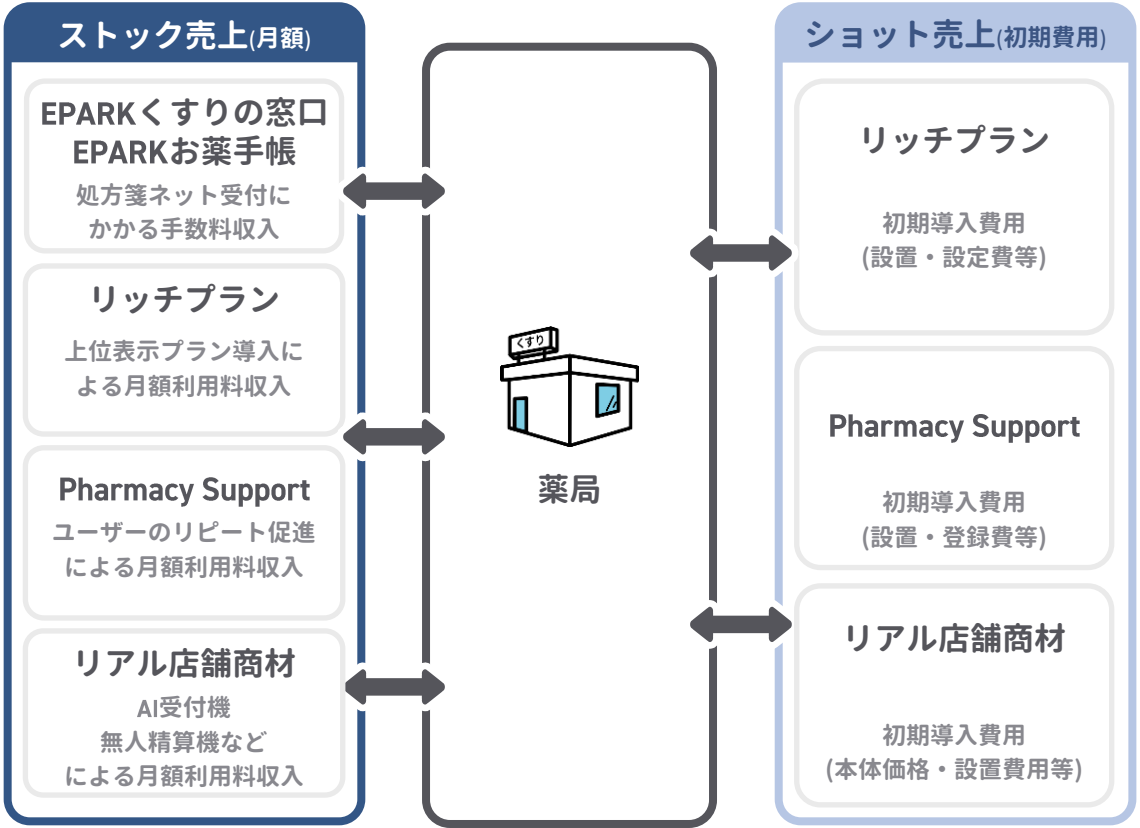
Pharmacy Support
ファーマシーサポート



AI受付機



無人精算機



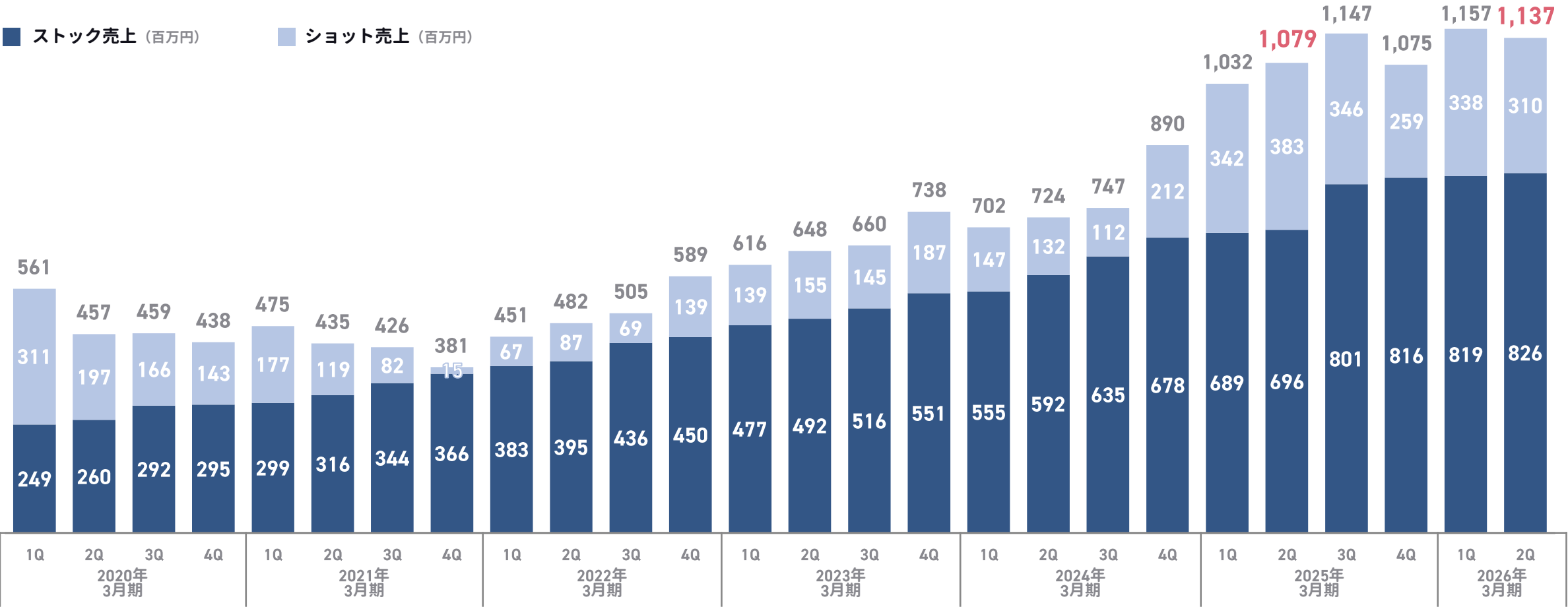
ストック売上：月額利用料などの契約に基づいて一定程度継続的に得られることを見込んでいる売上と定義。
ショット売上：初期導入費用など一時的に得られる売上と定義。

3. 事業内容と業績

メディア事業 | 売上高

2026年3月期第2四半期のショット売上は、前年同期の調剤報酬改定による加算要件のサービス需要が一巡したことで減少しましたが、ストック売上は、処方箋ネット受付や施設保有数の増加もあり好調に推移しました。

※メディア事業にEPARK人間ドックの売上を含めておりましたが、今後未病予防事業として報告するため、遡って売上を修正しております。



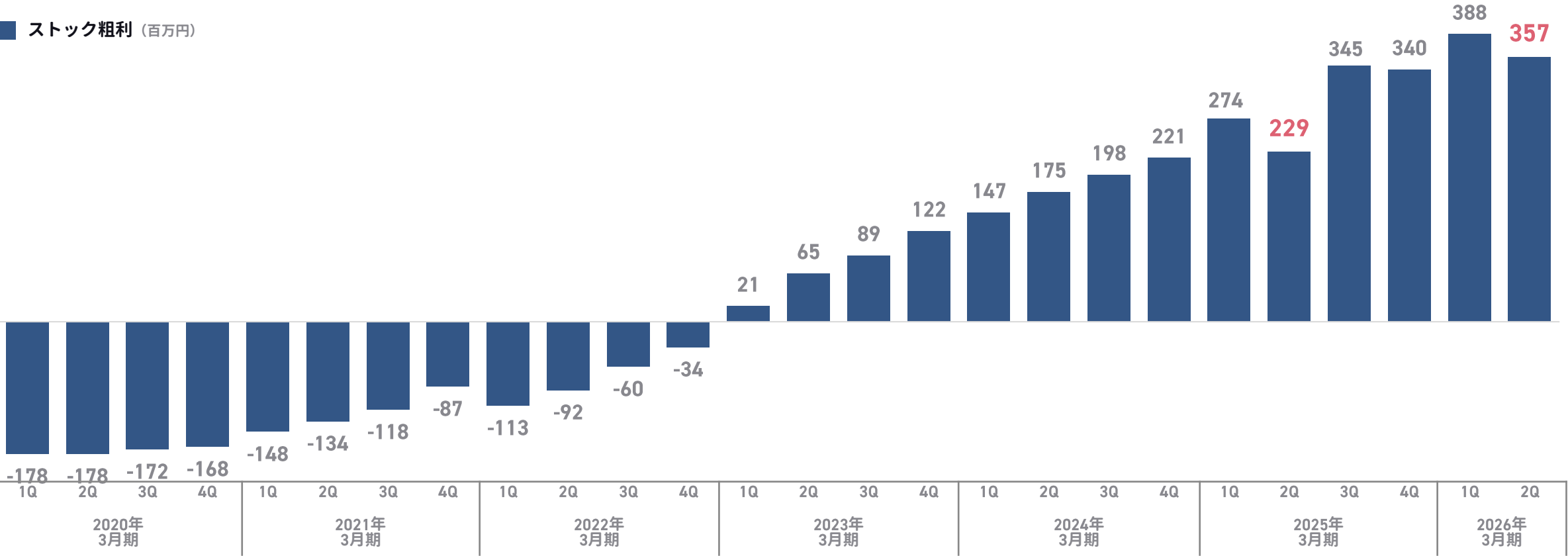
3. 事業内容と業績

メディア事業 | ストック粗利

2026年3月期第2四半期は、施設保有数の増加や粗利率の改善もあり増益となりました。2025年3月期第2四半期の粗利率は34%に対して、2026年3月期第2四半期の粗利率43%と9ポイント増加しました。

2026年3月期第1四半期に対する減少は、主にリスティング費用の増加及び先行投資による開発費用の増加によるものです。

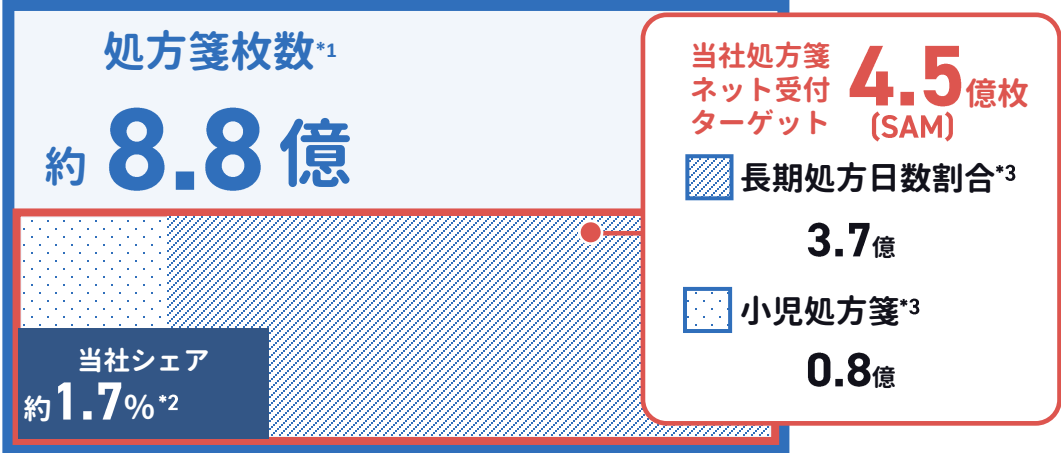
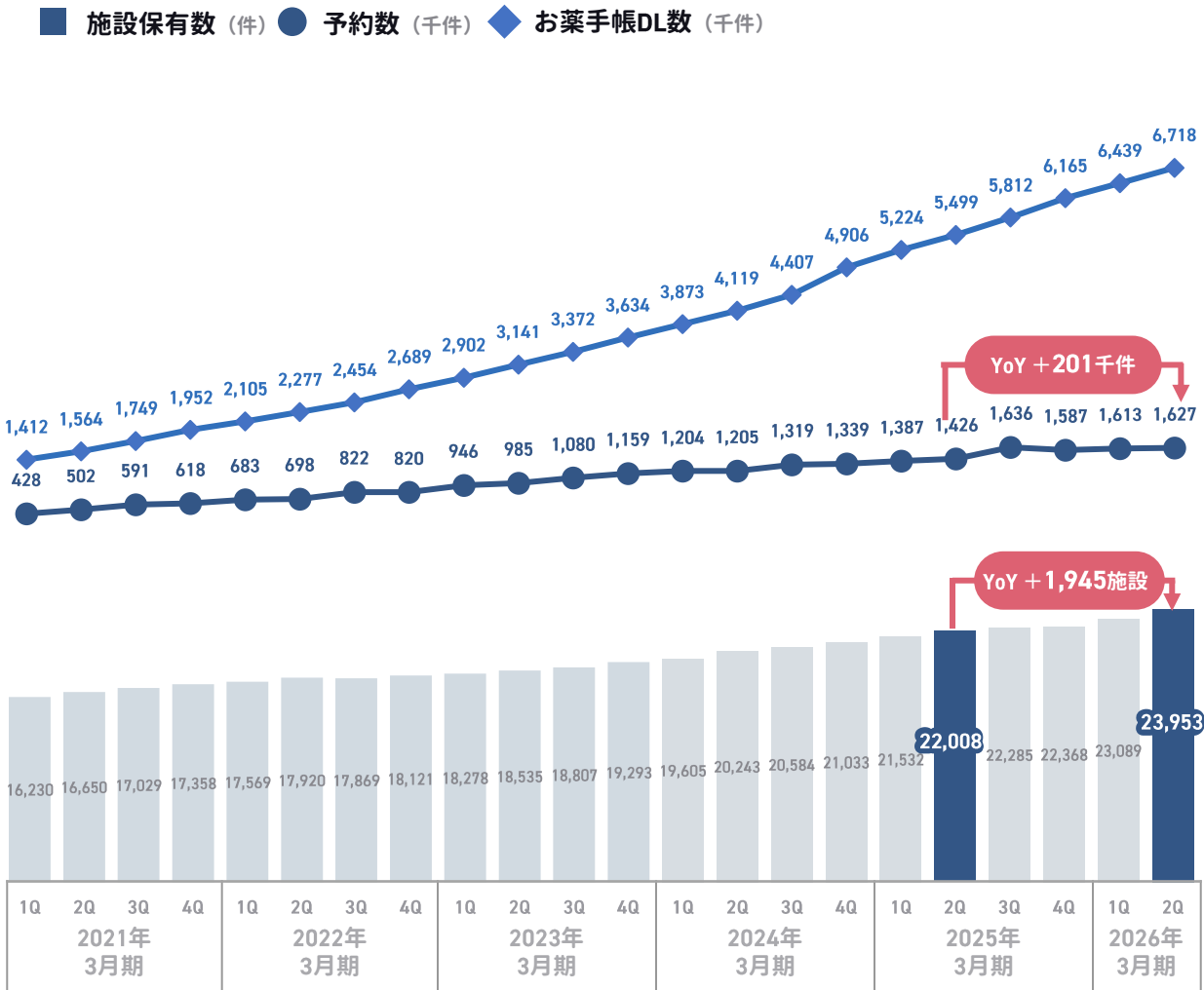
※ストック売上・原価の定義を変更したことから、2025年3月期第1四半期まで遡ってストック粗利を修正しております。



3. 事業内容と業績

メディア事業 | KPI（重要指数）

EPARKお薬手帳アプリも累計ダウンロード数は**650万**を突破後も好調に推移しております。
EPARKくすりの窓口からお薬手帳への囲い込みが進んでおります。



*1. 調剤医療費総額、処方箋枚数(受付回数)令和4年4月～令和5年3月
*2. 1予約当たりの処方箋枚数を1.2枚で計算
*3. *1を元に当社実績割合で算出

調剤薬局の施策

薬局店舗内の業務を無人化するソリューション

AI受付機



- 処方箋受付
OCR(文字認識) / QRコード読み取り / 電子処方箋控え読み取り
- お薬手帳の回収
患者様の紙のお薬手帳回収
- 受付票の発券
お呼び出し順が記載された受付票の発券 / 受付票のQRコードからWEB問診票にアクセス可能
- 調剤完了の呼び出し
- ※レセコン自動反映 **NEW**
レセコンへの自動反映が可能
※当社独自のAI OCR技術を活用したレセコンへの自動反映

無人精算機



精算方法
現金/クレジット/QRコード/電子マネー

AI受付機の引合い状況

※企業名は敬称略にて記載させていただいております。
(敬称略・順不同)


テスト設置している企業
イオンリテール株式会社
株式会社ツルハホールディングス (OCR調整中)
ウエルシアホールディングス株式会社 (OCR調整中)
テスト設置を予定している企業
株式会社 新生堂薬局
株式会社 トーカイ薬局
株式会社 ウェルパーク
株式会社 ヤマダデンキ
株式会社 サン・ケア
株式会社 サッポロドラッグストアー
株式会社 千葉薬品
株式会社 Yell Pharmacy
他


■ 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業

3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | ビジネスモデル



くすりの窓口


E-BONDグループ

(株)J-Seed

国内最大級の流通改善により、最適な仕入れサポートサービスの提供


e-オーダー


需要予測 / 在庫管理・発注

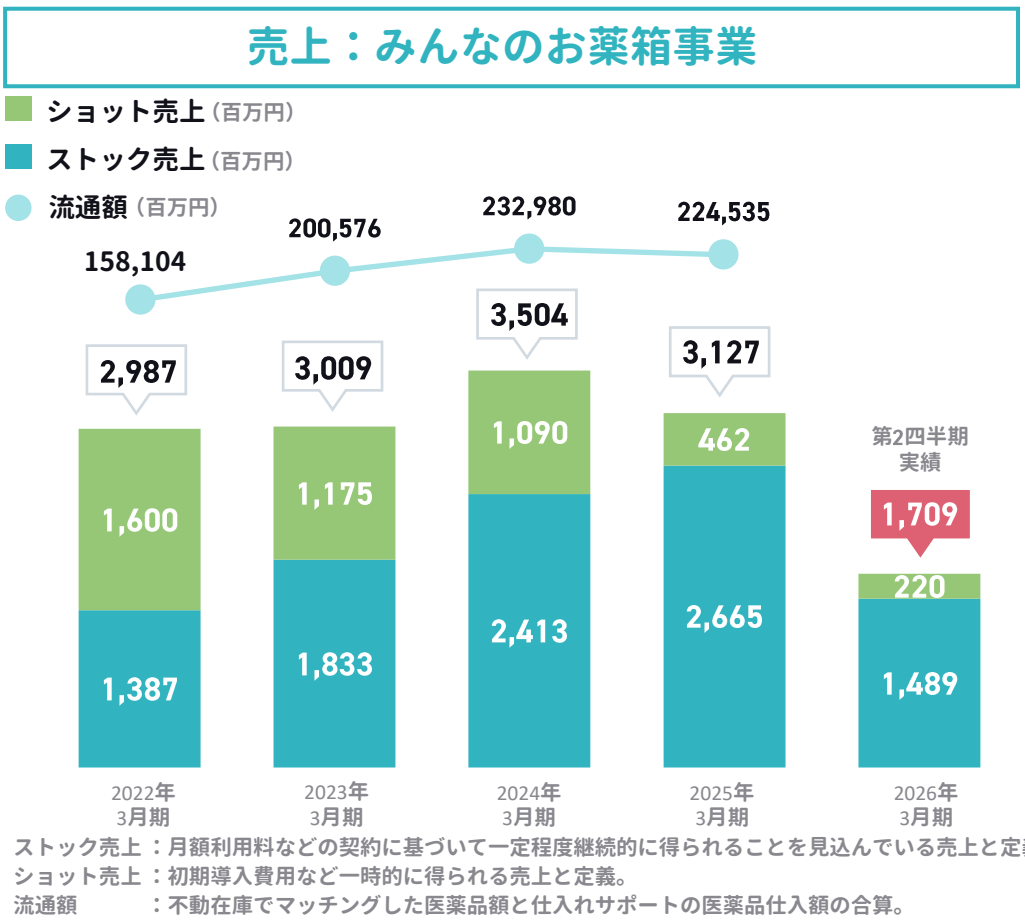
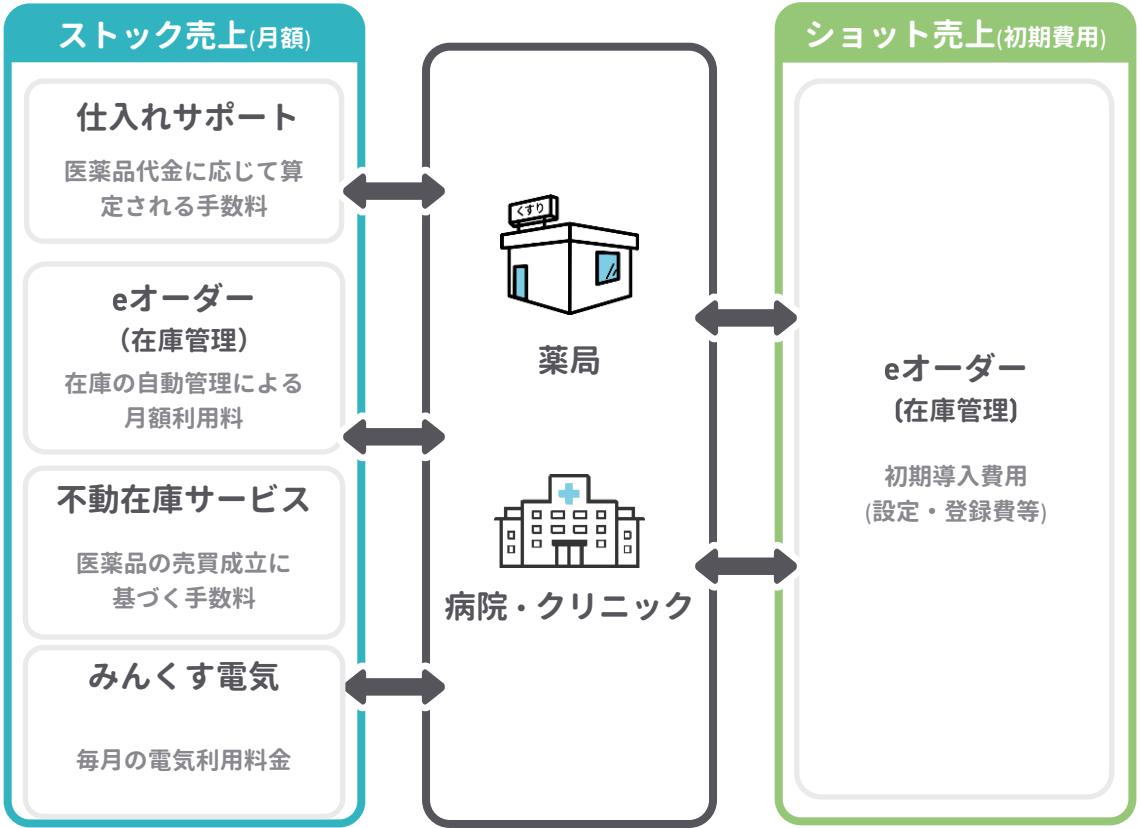
AIを活用した在庫管理自動発注システム

不動産在庫サービス

国内最大級の医薬品売買のマッチングサイト


みんなくす電気

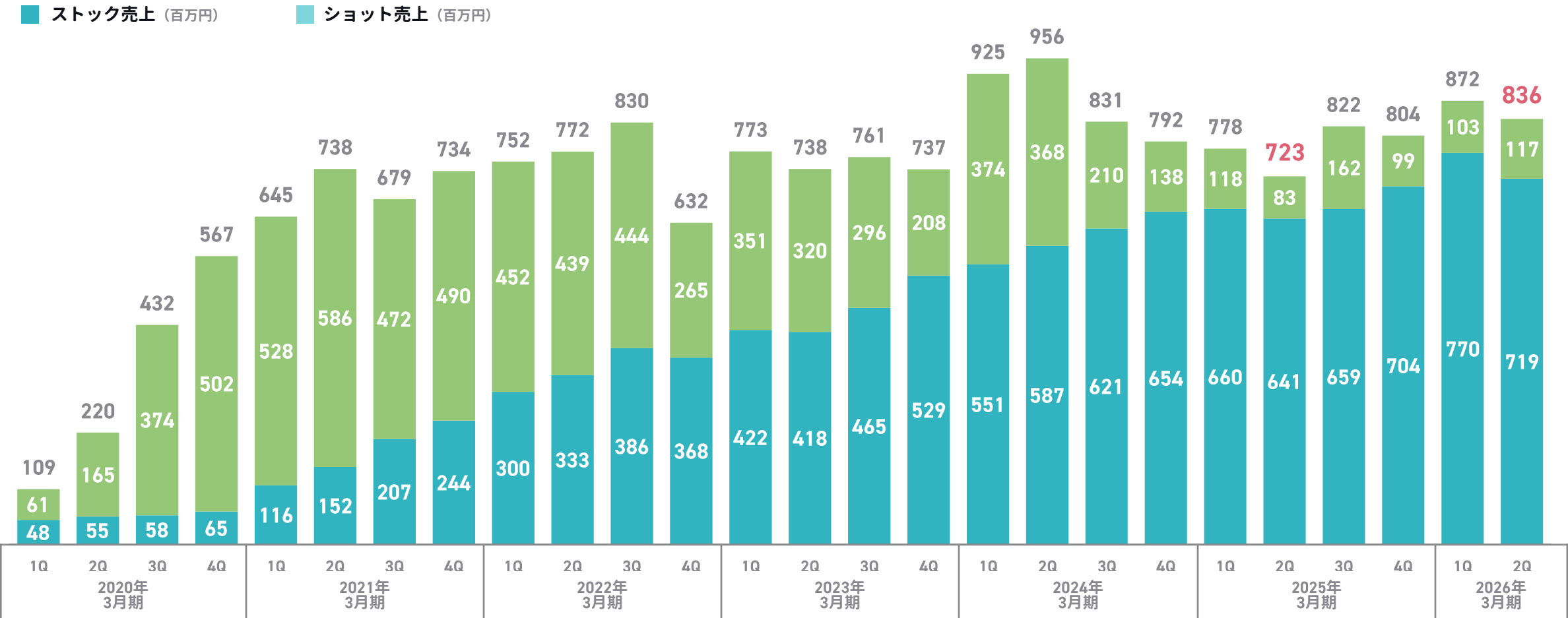
調剤薬局、医療機関向けに最適な電力供給環境を提供



3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | 売上高

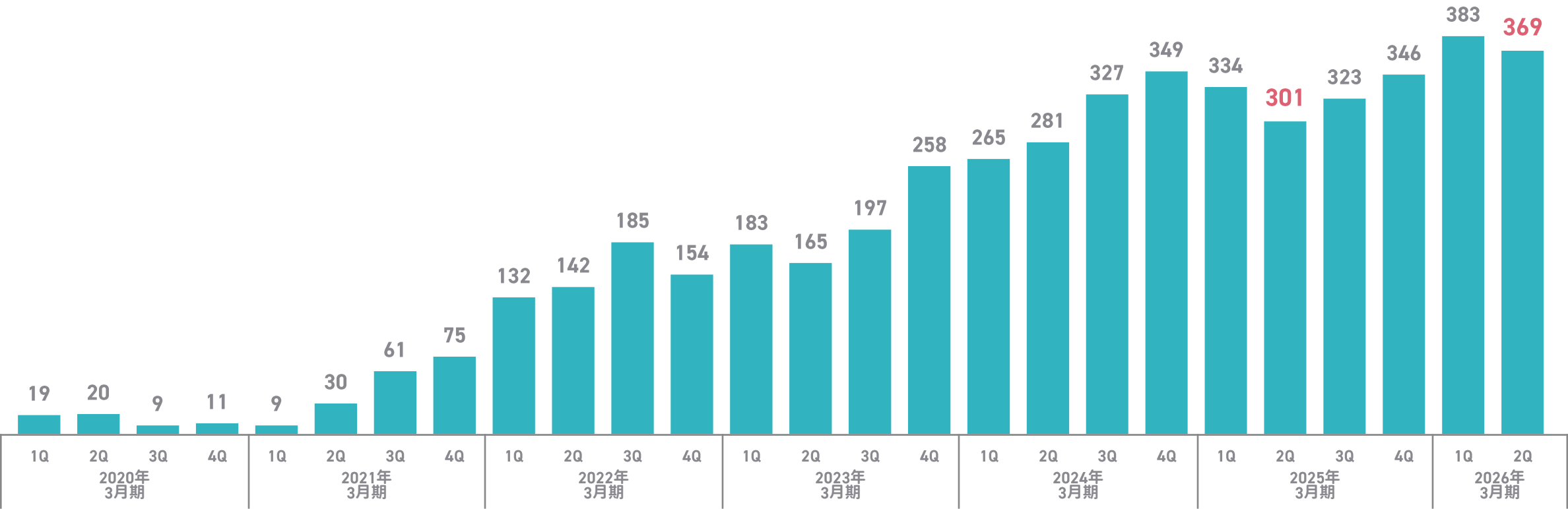
ショット売上は、仕入れサポートが回復基調のため、獲得が増加しました。
ストック売上は、前年同期比較では仕入れサポート、不動産在庫サービスの前年同期の売上を上回り、増加いたしました。一方で、前四半期比較では、第1四半期に展開した不動産在庫サービスの販促活動による反動で減少しておりますが、高い水準で着地できました。



みんなのお薬箱事業 | ストック粗利

前年同期比較では、ストック売上が増加したことで粗利率が改善しましたので増益となりました。2025年3月期第2四半期の粗利率は47%、2026年3月期第2四半期は51%でした。また、前四半期比較では第1四半期に実施した不動態在庫サービスの販促活動の反動でストック粗利は減少しましたが、粗利率は50%から51%と1ポイント改善しました。

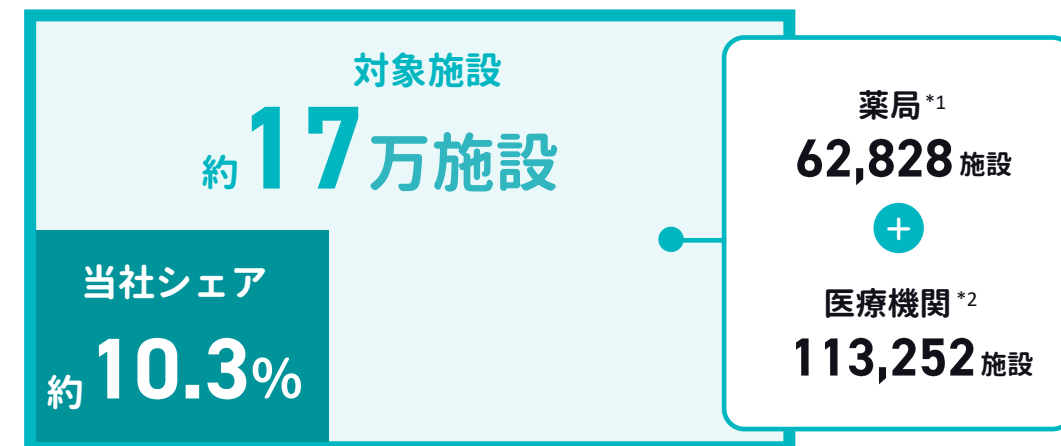
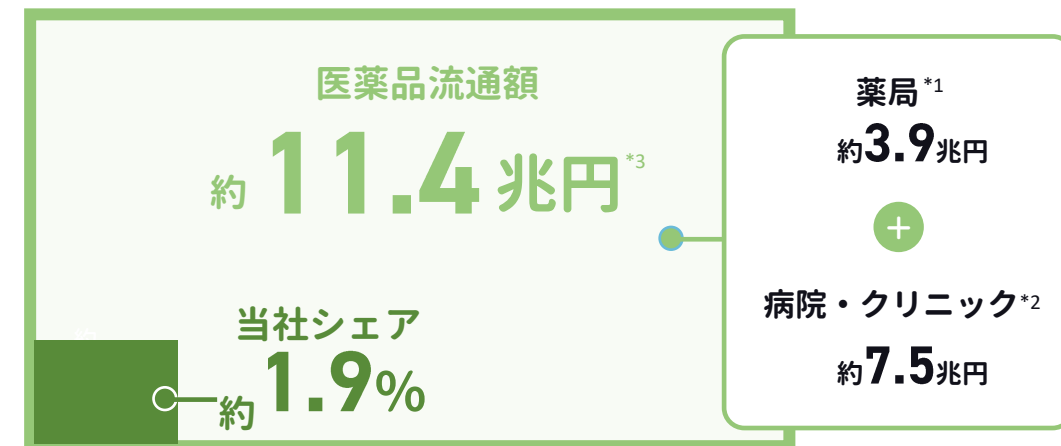
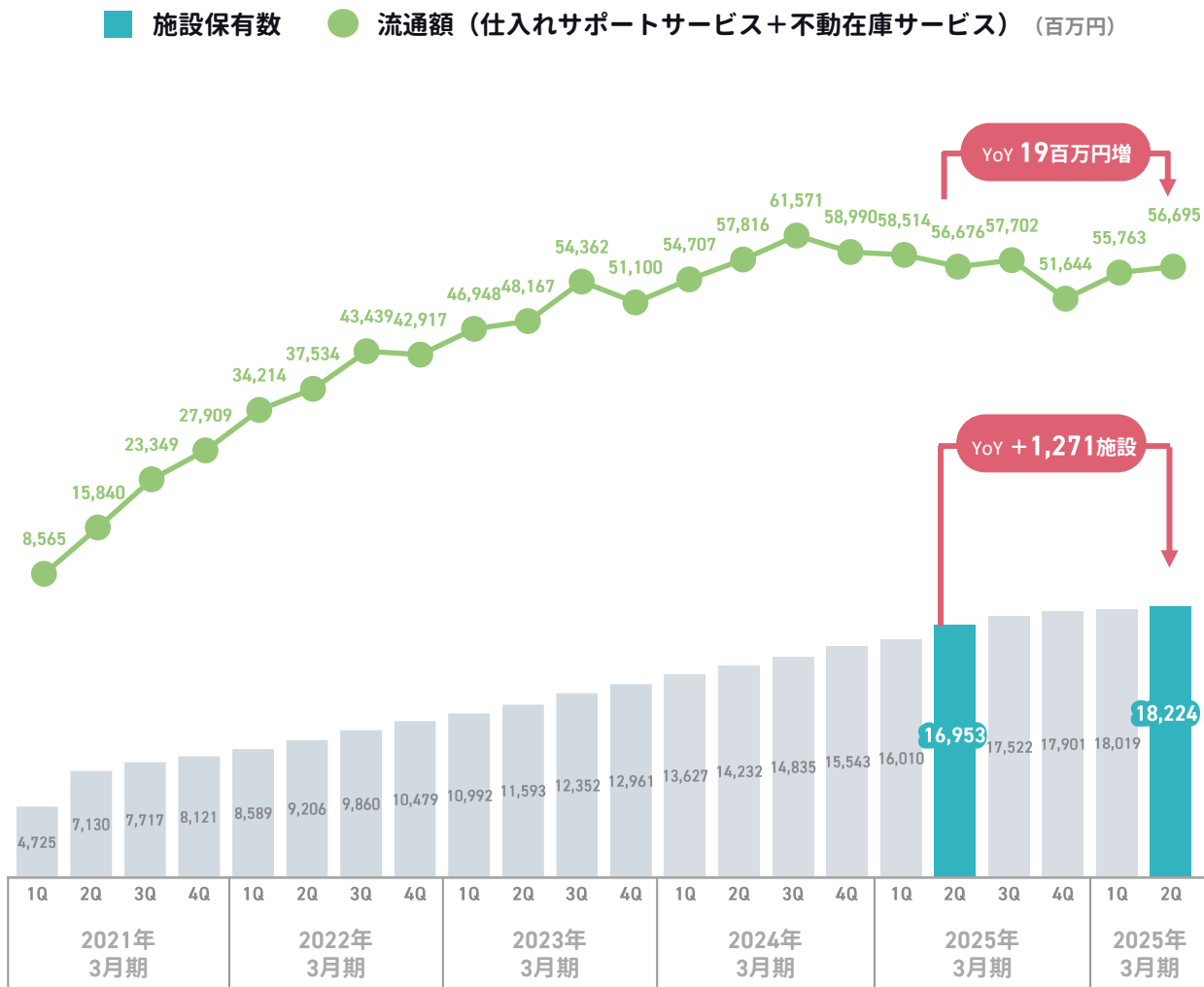
■ ストック粗利 (百万円)



3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | KPI（重要指標）

※仕入れサポートサービス+不動在庫サービス



*1. 厚労省「薬局薬剤師に関する基礎資料(概要)」より

*2. 厚労省「医療施設動態調査(令和3年1月末概数)」より

*3. IQVIA医薬品市場統計△売上データ（期間：2022年4月～2023年3月）

みんなのお薬箱事業 | トピックス

不動産在庫サービスの拡大

グループ会社ピークウェルの自社倉庫管理のDX化を推進したことによる削減コストを活用し、加盟薬局の不動産在庫の高価買取などの価格還元策を実施したことで大手・中堅企業の獲得につながっています。

自社倉庫管理にAI技術を導入してさらなる価格還元を実現することで、不動産在庫サービスの顧客数を拡大していきます。

店舗間共有機能のリリース

調剤薬局チェーングループ 内店舗間の在庫を最適化

予め設定した各店舗の在庫状況と調剤需要予測から店舗間の薬の譲渡や譲受を促進し、各店舗の在庫を最適化するシステム

- 期待される効果
- ・ 医薬品の廃棄削減
 - ・ 調達コストの低減
 - ・ 在庫の適正化

みんくす電気



経営環境の厳しい医療機関にとっても、簡単に始められて効果が実感できるため引き合いが増えています。

年間約1,000万円のコスト削減事例

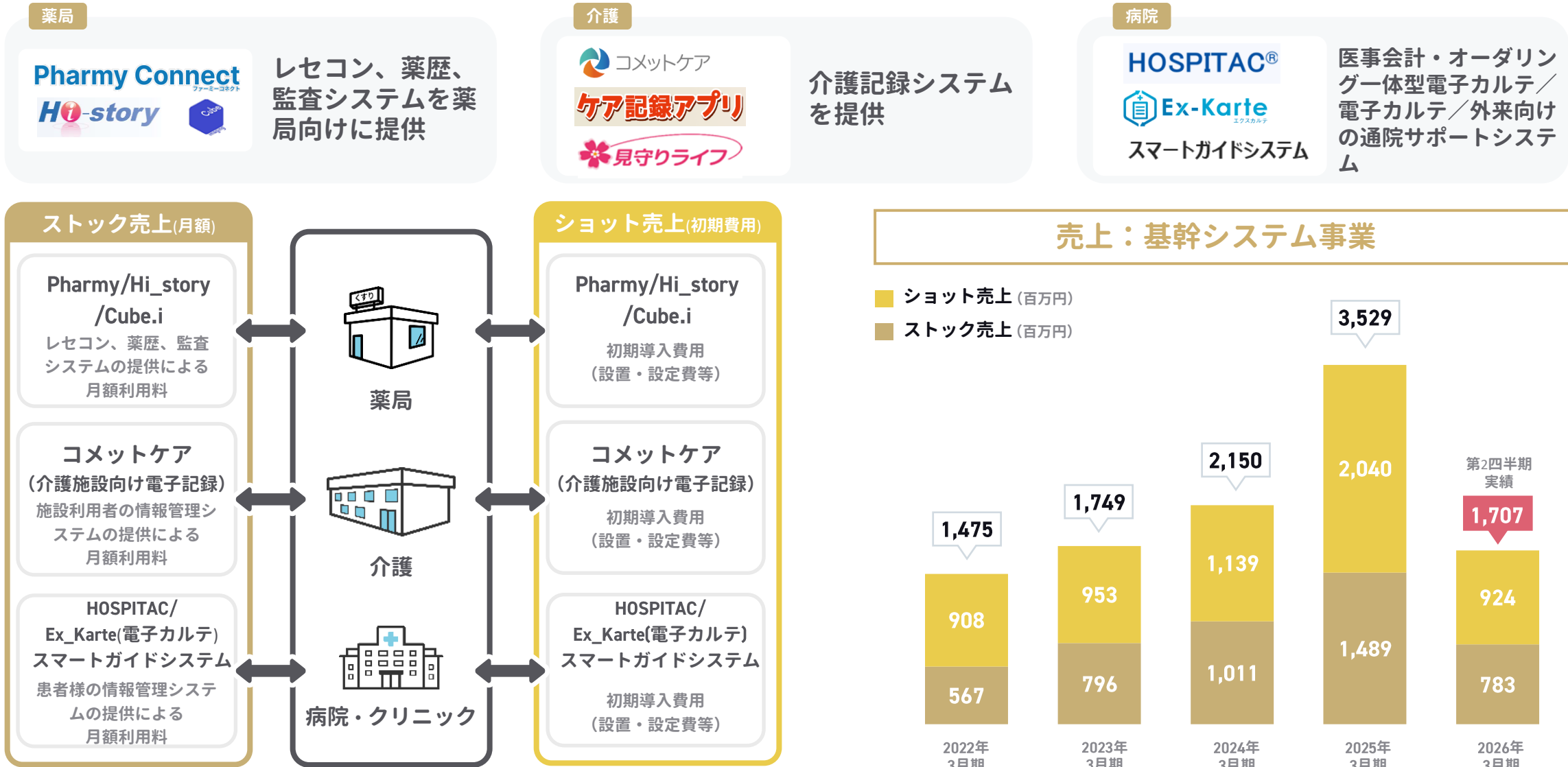
	年間使用電気料	Before	After	年間改善額	削減率
本館	1,405,075 kwh	29,055,545 円	25,826,991 円	▲3,228,554 円	▲11.11%
別館	189,147 kwh	5,110,158 円	3,973,288 円	▲1,136,870 円	▲22.25%
外来棟	167,201 kwh	4,531,320 円	3,540,664 円	▲990,656 円	▲21.86%
老健	228,406 kwh	4,949,247 円	4,302,616 円	▲646,631 円	▲13.07%
併設施設	941,122 kwh	21,361,491 円	17,935,499 円	▲3,425,992 円	▲16.04%
合計	2,930,951 kwh	65,007,761 円	55,579,058 円	▲9,428,703 円	▲14.50%

事業内容と業績

基幹システム事業

3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | ビジネスモデル

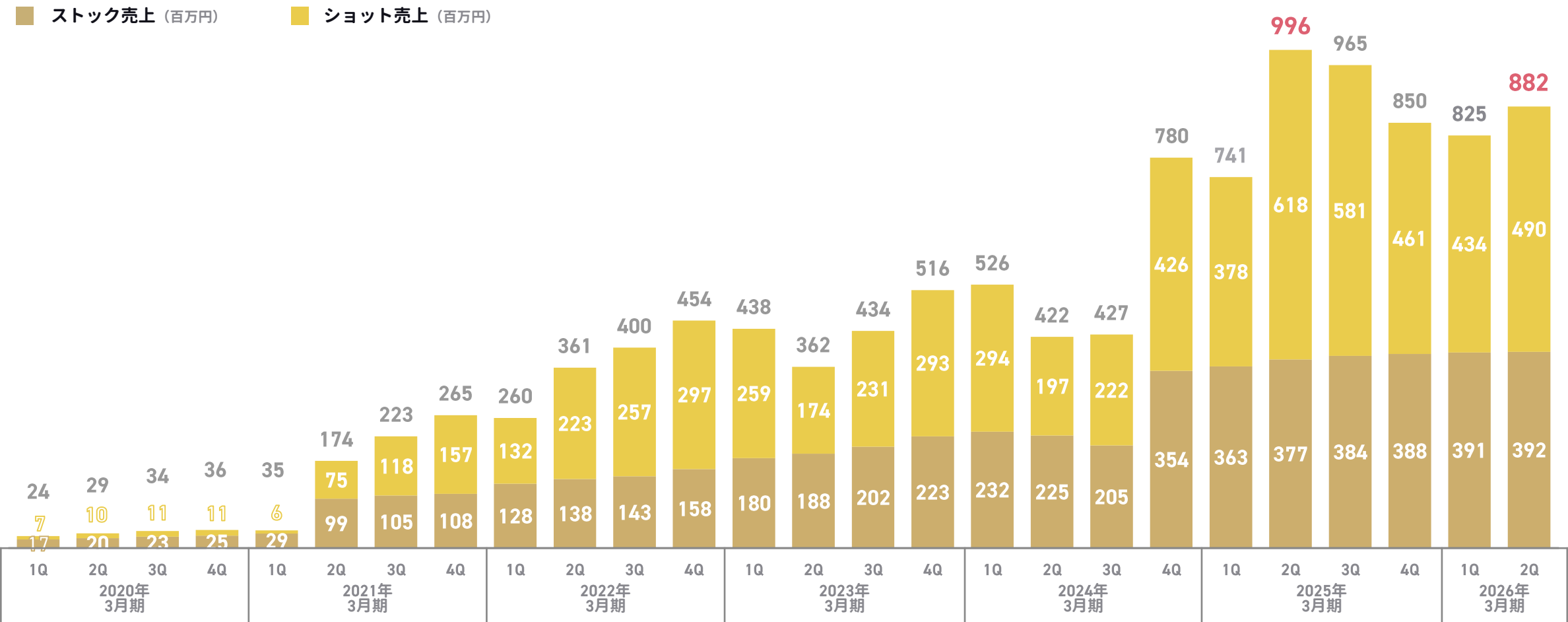


3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | 売上高

ショット売上は、前年同期の特需による反動で減少しましたが、調剤監査システムと電子カルテの導入が進み、高い水準での着地となりました。

ストック売上は、着実に積み上がり過去最高を更新しました。

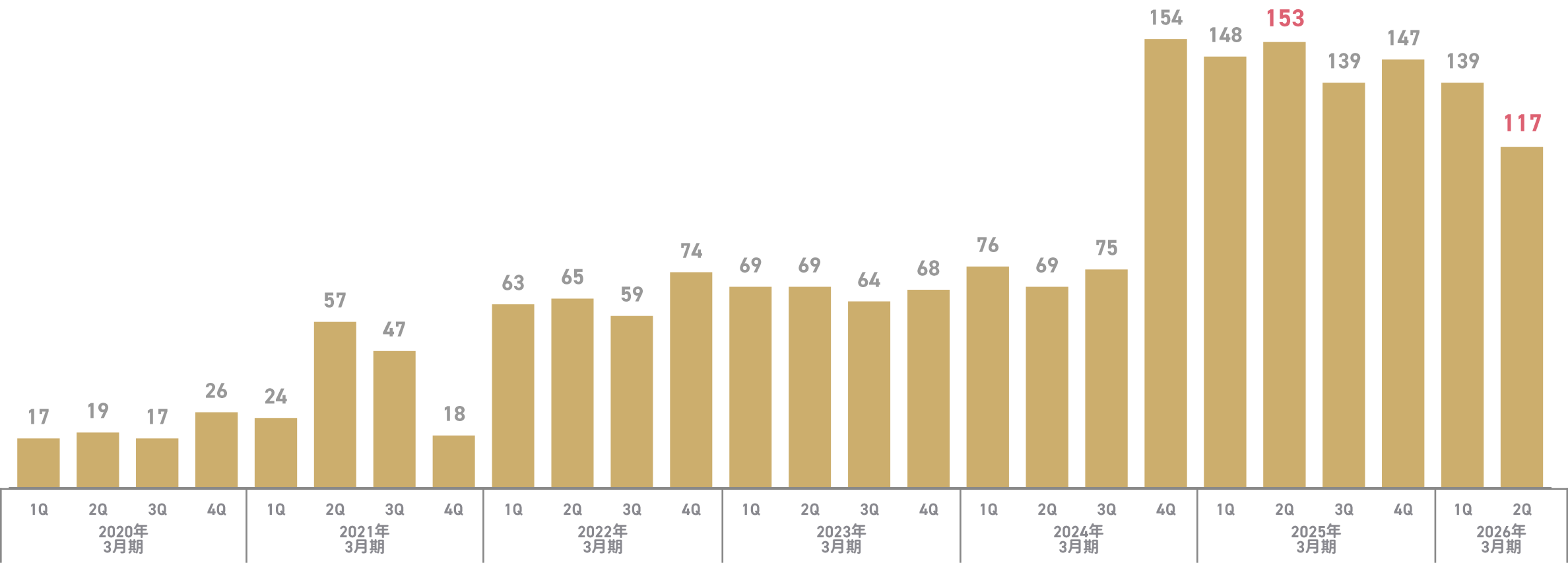


基幹システム事業 | ストック粗利

ストック粗利は、前期第2四半期及び当期第1四半期に対する減少は、主に子会社でのストック売上・原価の定義変更及び主要子会社での新商品の先行投資によるストック原価の上昇によるものです。

※ストック売上・原価の定義を変更したことから、2025年3月期第1四半期まで遡ってストック粗利を修正しております。

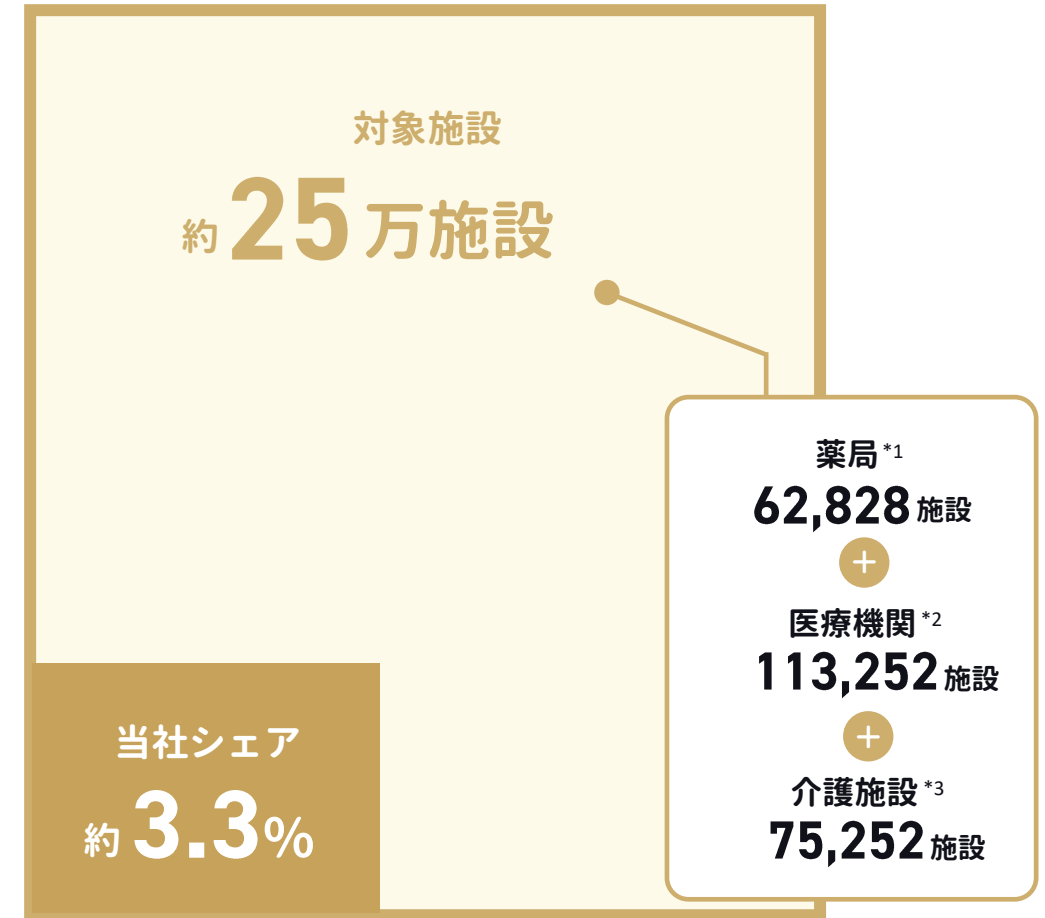
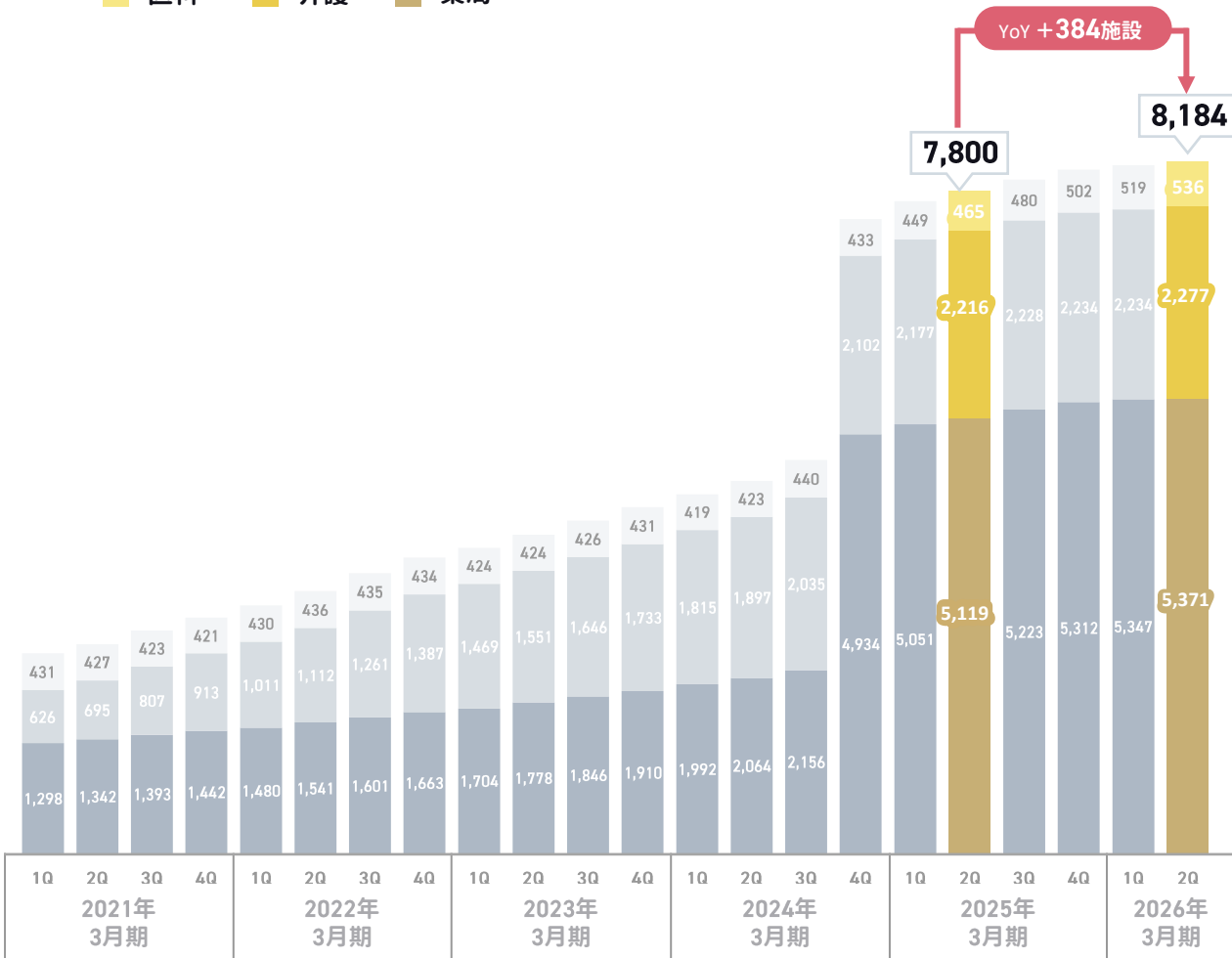
■ ストック粗利（百万円）



3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | KPI（重要指数） 業種別施設保有数推移（四半期）

■ 医科 ■ 介護 ■ 薬局



*1. 厚労省「薬局薬剤師に関する基礎資料(概要)」より

*2. 厚労省「医療施設動態調査(令和3年1月末概数)」より

*3. R40324社保審介護保険部会資料より

基幹システム事業 | トピックス

クラウド版電子薬歴システム Hi-story α

機能を強化した電子薬歴システムが年末年始にリリース予定

くすりの窓口の各種サービスとの連携、AIを活用した業務の自動化が強化された「Hi-story」の新モデルをリリース

※画面は開発中のものです。



EPARKスマートガイドシステム

あと払いシステムをご評価いただき済生会横浜市東部病院様がご導入

2025年11月4日より済生会横浜市東部病院にてEPARKスマートガイドシステム医療費あと払いサービスを開始いたしました。対象は、外来診療費の他、入院費支払いにも対応しております。これにより、患者様は、会計で順番を待つことなくご帰宅頂けるようになり、患者様の快適な通院を実現し、病院におけるDX化を実現いたしました。



事業内容と業績

未病予防事業

3. 事業内容と業績

未病予防事業 | ビジネスモデル

くすりの窓口
健診サポート

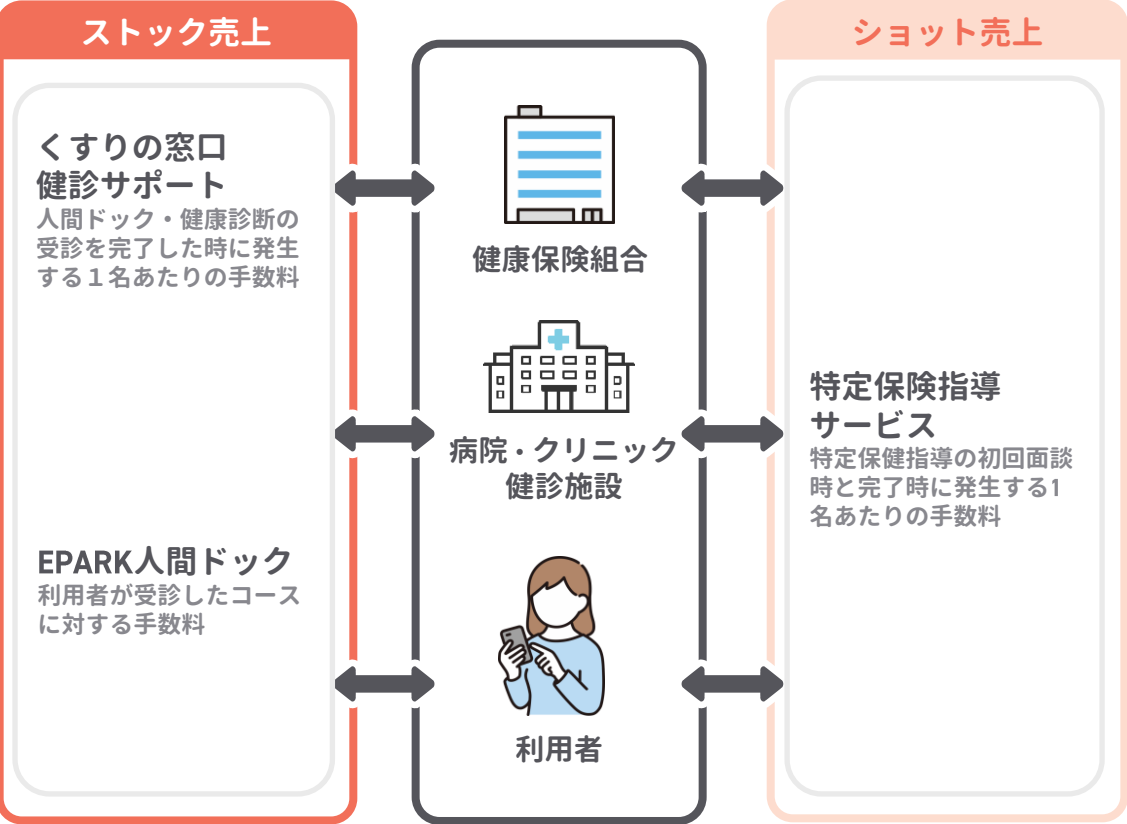
各健診施設との契約・更新から被保険者へのWEB予約環境の提供、未受診者に対する受診勧奨、請求書や健診結果の取りまとめをサポート

人間ドック・健診の
24時間WEB予約サービス

EPARK
人間ドック

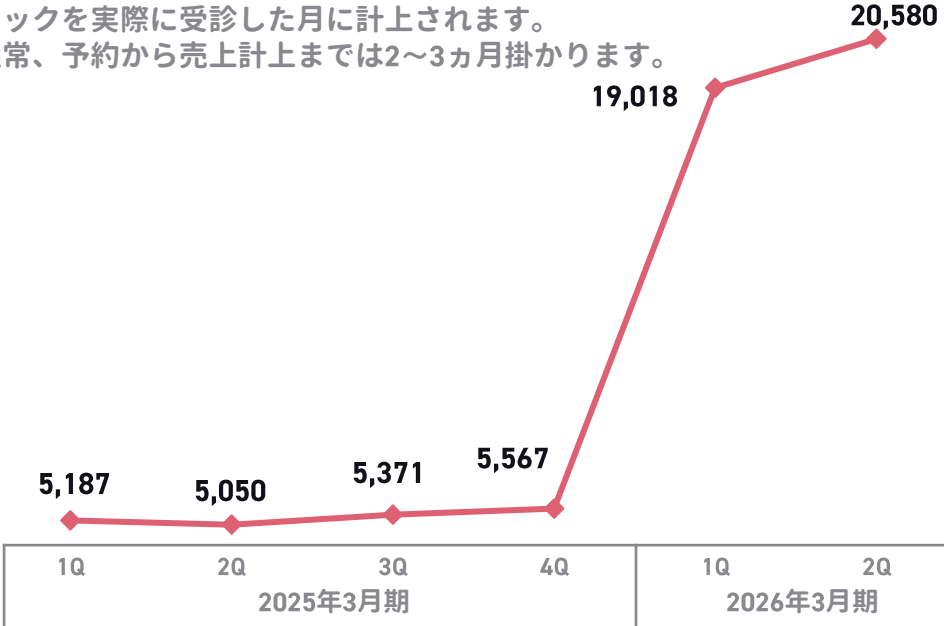
特定保健指導
サービス

対象者に対して、弊社加盟薬局の検索や対面、電話、メールなどの面談方法を選択できるWEB環境を提供。さらに対象者の抽出から未受診者への受診勧奨、特定保健指導完了までをサポート。



KPI：未病予防事業

◆ 予約数(くすりの窓口健診サポートの予約数+EPARK人間ドックの予約数) ※
※売上は、ご予約頂いたユーザーが健康診断または人間ドックを実際に受診した月に計上されます。
通常、予約から売上計上までは2~3ヵ月掛かります。

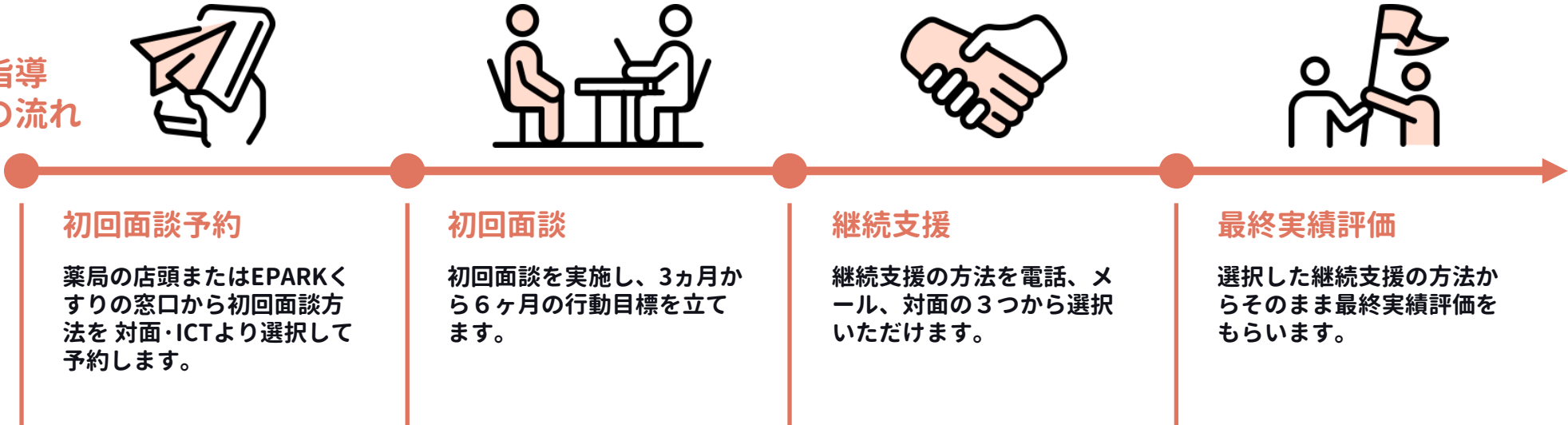


未病予防事業 | トピックス

当社の「特定保健指導サービス」のサポート薬局の対応店舗数を拡大してまいります。

特定検診実施実績のある薬局店舗の会社名			※企業名は敬称略にて記載させていただいております（敬称略・順不同）
株式会社 アカカベ	有限会社 アリーナ	株式会社 ユタカファーマシー	
株式会社 徳永薬局	株式会社 ナカジマ薬局	株式会社 アイリスファーマ	
株式会社 ツルハホールディングス	株式会社 大賀薬局	株式会社 ドリーム・メディカル	
株式会社 ライフエンタープライズ	クオール 株式会社	ユウ薬品 株式会社	
株式会社 ノムラ薬局	田辺薬局 株式会社	スマイルホールディングス 株式会社	
株式会社 フォーラル	株式会社 富士薬品		
株式会社 鈴木薬局	中部薬品 株式会社		
運用を開始する薬局店舗の会社名			
サツドラホールディングス株式会社			

特定保健指導
サービスの流れ



2026年3月期 業績見通し

2026年3月期 業績見通し

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比
単位：百万円						
売上高	6,489	7,420	8,721	11,199	12,300	+10%
売上原価	3,117	3,346	3,788	4,724	-	-
売上総利益	3,372	4,074	4,932	6,475	-	-
販売管理費	2,657	3,024	3,562	4,521	-	-
営業利益	715	1,050	1,370	1,953	2,200	+12%
経常利益	815	938	1,325	1,940	2,135	+10%
親会社株主に帰属する当期純利益	515	391	870	2,034	2,240	+10%

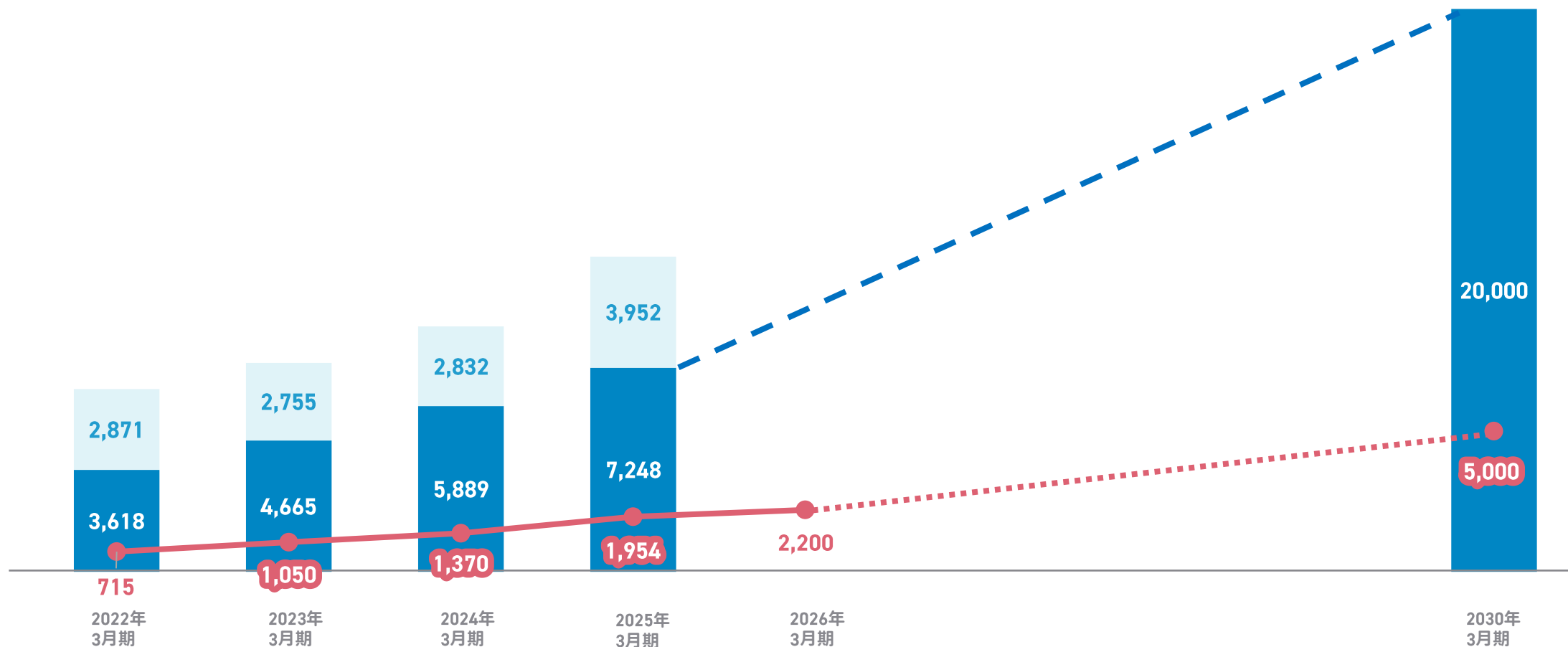
■ 中期経営計画

5. 中期経営計画

中期経営計画

ストック売上を積み上げながら安定的な利益を確保し、**ストック売上200億円、営業利益50億円以上を目指します。**

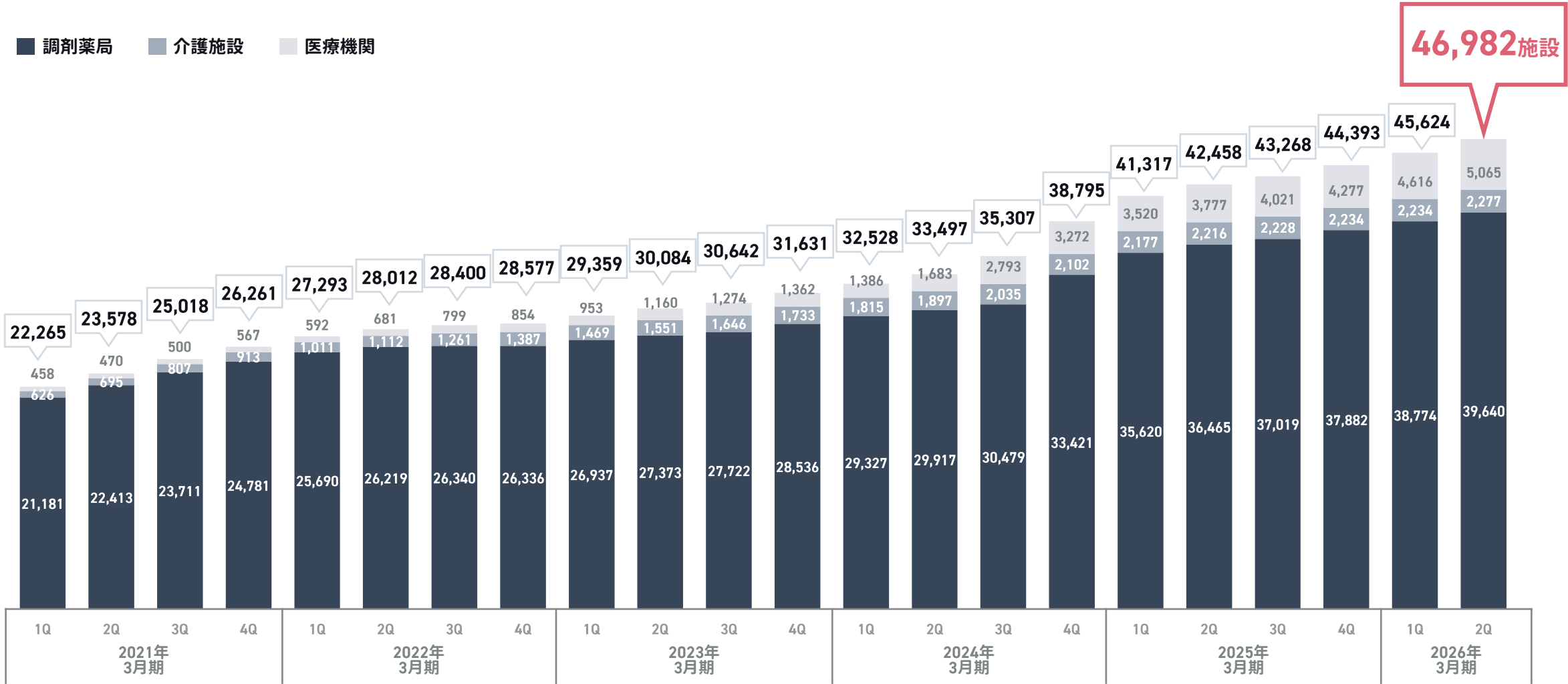
■ ストック売上高 ■ ショット売上高 ● 連結営業利益 単位：百万円



5. 中期経営計画

顧客基盤の拡大

2030年3月期末までに10万施設を目指します。





**ヘルスケア領域に新しい価値を提供し、
事業を通じて「社会課題の解決」に貢献する**

くすりの窓口グループをご支援賜りますようお願い申し上げます

注意事項

当社の連結決算は日本会計基準を採用しています。

業績予想などを含む本資料は、当社が現時点で入手可能な情報の正確性と、合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は、経済状況の変化や顧客ニーズの変化、または法規制等の変更等、さまざまなリスクや不確定な要因により異なる可能性があります、その達成を約束するものではありません。

IRに関するお問い合わせ

株式会社くすりの窓口 管理本部IR担当

E_mail

ir@kusurinomadoguchi.co.jp

IR サイト

<https://kusurinomadoguchi.co.jp/ir/>